

梅雨の山で密かに咲く花 - バイカツツジ -

梅雨期の陶史の森を散策していると湿った森の中の樹木に小さく目立たない白い花を見つけることができます。その樹木の上からは分かりにくいのですが、下から仰ぐように見るとこの写真のように花をいくつもとらえることができます。ツツジ科ツツジ属に分類される「バイカツツジ」です。花冠（複数の花弁）の様子がウメの花に似ていることから名付けられました。「梅花躑躅」と漢字で書きます。

白い花弁の内側に赤紫色の斑紋があります。5本のおしべの内の2本は短く、下の3本は長く先が曲がっているのが特徴です。陶史の森の中にあるいろいろなツツジの中で一番遅く咲くツツジです。湿ったところに多く生息し、葉は深い緑色で花は枝先に集まって咲きます。赤紫色の斑紋がない真っ白な個体変異のバイカツツジが陶史の森で見つかっています。

多くの植物が春や初夏に花をつけるのにバイカツツジは梅雨期にわざわざ花を咲かせているようです。梅雨期の山には他の花が少なく、梅雨の晴れ間にはハチやチョウなどの花粉を運ぶ昆虫を独占することになります。小さな目立たない花でも咲いていれば他の花がないために昆虫が探して訪れ花粉を運んでくれます。

ツツジ科の植物としては、バイカツツジの花は小さく、葉の下に咲きます。雨の影響をできるだけ小さくしているようです。自分を守りながら確実に種を保存していく知恵があります。

密かに咲くバイカツツジには、大胆なしたたかさがあるようです。



枝先に集まって咲くバイカツツジ



葉の下に咲くバイカツツジ



ギフチョウを放蝶しました。

4月4日(日)

今年はギフチョウの放蝶会を縮小した形ですが開催することができました。あいにくの雨天でしたが、チョウの館で十数頭のギフチョウを放しました。参加者は7人と少なかったですが、その場がギフチョウの撮影会にもなりました。

美しいギフチョウの姿を思い思いにカメラに収める参加者からは、感動の声が上がりました。

その後、チョウは、山へと飛んでいきました。



教室のご案内

5月

バードウォッチング (要予約 10人)

5月23日(日) 午前9時～11時30分

初夏の野鳥を観察します。雨天中止

6月

ミツバチ教室 (要予約 20家族)

6月20日(日) 午前9時～11時30分

ミツバチ対応のために白色の服装、帽子を準備してきてください。

蜂アレルギーの方はご遠慮ください。

バードウォッチング (要予約 10人)

6月27日(日) 午前9時～11時30分

梅雨期の野鳥を観察します。雨天中止

※新型コロナウイルス予防対策のために中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。